

調査報告

立教大学観光学部紀要 第18号 2016年3月
 Rikkyo University Bulletin of Studies in Tourism No.18 March 2016
 pp. 174-186.

陝西省大中都市「農家楽」発展モデル ——西安市を例として

A Study on the Development Model of Farm Tourism in Large and Medium-sized Cities of Shaanxi Province: The Case Study of Xi'an

高 林 安*
 Gao, Linan

Abstract: The farm tourism around Xi'an has developed for more than 20 years and has taken shape, it also has become one of the important leisure destinations of holiday. Nowadays, there exist many problems. For example, government management is not scientific, the legal system is not complete, products have low added value, competition is not ordered, environment is polluted seriously etc.. Taking Xi'an city as an example, this paper puts forward solutions to government management, self management, tourism planning, product development, marketing, sustainable development and so on.

Key words: 陝西省 (Shaanxi province), 西安市 (Xi'an), 「農家楽」 (farm tourism), 発展モデル (development model)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| I 研究の背景と目的 | 2) 経営者自身の管理モデル |
| II 「農家楽」の定義, 及び西安市の「農家楽」 | 3) 製品設計, 組み合わせモデル |
| 1) 「農家楽」の定義 | 4) ブランド意識の形成と市場営業販売モデル |
| 2) 西安市における「農家楽」の発展過程と分布 | 5) 人材資源管理モデル |
| 3) 西安市の「農家楽」観光の運営状況 | 6) 観光製品企画モデル |
| III 調査の概要 | 7) 観光業の持続的な発展研究 |
| 1) 西安「農家楽」の観光客の調査 | V 陝西省大中都市の「農家楽」発展モデル |
| 2) 西安「農家楽」経営者の調査 | 1) 政府管理方面 |
| 3) 西安「農家楽」経営者が居る村の村民と村の様子の調査 | 2) 法律規定 |
| 4) 西安都市市民調査 | 3) 経営者自身の管理 |
| 5) 旅行社との提携関係による販売状況 | 4) 開発, 製品の組み合わせ |
| 6) 観光関係専門家, 学者, 研究員の調査 | 5) ブランド意識の形成と営業販売 |
| IV 西安市「農家楽」の発展モデル | 6) 人材資源管理 |
| 1) 政府管理モデル | 7) 経営理念 |
| | 8) 交通方面 |

* 西安財経学院観光学部・准教授 立教大学観光学部・客員研究員

- 9) 観光企画
- 10) 環境保護及び持続的な発展
- 11) 買い物と商品開発
- 12) 安全方面

I 研究の背景と目的

中国において2006年の国内観光テーマは「2006中国農村観光年」で、内容は「新農村、新旅行、新体験、新気風」であり、翌年の2007年は「2007中国調和都市鄉村旅行」で、内容は「魅力鄉村、活力都市、調和中国」であった。このように連続的に農村観光をテーマとしたことから、農村観光が非常に重視されていることが分かる。中国國務院2007年1号の通達にも、農村観光を重視するという呼びかけが出された。農村観光は調和社会、とくに都市と農村の調和に非常に役に立つ。2009国発41号条例『國務院観光を速かに推進する意見（关于加快发展旅游业的意见，国发【2009】41号）』は「農村観光と体験観光を推進する」と定めた。2010年の「都市農村発展の加速と農業農村発展基礎の強化に関する中央・國務院の意見」（2010年中央第1号公文章）によると、「レジャー農業の発展強化、農村の非農就業の拡大」が明確に指摘された。2012年、農業部と国家観光局両部門は協定を結び、中国観光協会にレジャー農業と農村観光支部を設立した。両部門はレジャー農業の発展を「三農問題」（農村、農業、農民問題）の解決と社会主義新農村および小康社会の建設に有効な手段とし、レジャー農業の発展を国家戦略と重要視している。2013年、農業部は「十一五全国レジャー農業発展経験」を纏めた際に、今後の発展思想と方向、目標を明らかにし、それに基づいて具体的な対応措置も制定して責任部門を設定した。2014年、中央第1号公文章「全面的に農村改革の深化と農業現代化の推進加速に関する若干の意見」では、それまでとは大きく異なり、農産物は数と品質を同時に確保することが、農産品への信用危機を解消する根本的な手段だと議論された。2015年、中央第1号公文章「改革創新の拡大と農業現代化建設の加速に関する若干意見」によると、初めて農村において第一、二、

三次産業の融合と発展について言及され、農村で多種多様なサービス業（例えば観光業、農家楽など）を開発して農民の収入向上につないでいくとした。田舎生態レジャー、観光、文化の価値を掘り出し、国家の支援で歴史と地域、民俗色豊かな観光村を作り、多様な形で田舎レジャー観光商品を開発する。田舎レジャー観光インフラ建設への投資を拡大し、営業機能と運営能力、サービス品質の向上を目指す。田舎レジャー観光発展のため、土地と財政、金融などの支援政策を図り、税金優遇政策も合わせて実施する。

中央政府の農村観光「農家楽」政策の実施に従い、2010年から、中国の観光大省である陝西省も同じく、省、市、県（区）、郷、村各行政レベルの政府部門も相次いで30余りの政策と規定を激励措置として打ち出し、田舎観光「農家楽」の開発に全力を尽くす姿勢を示し努力してきた。約20年経ち、陝西省において農村観光は大きく進歩した。しかし、「農家楽」は第一歩を歩み出したばかりで、政府の管理と法制度の健全化、自治協会管理、商品開発、企画、営業販売、環境保護、持続的な発展など、さまざまな面において改善の余地がある。

「農家楽」を健全かつ順調に持続的に発展させるために、上述の問題をどのように解決すべきか、本研究は陝西省の「農家楽」の発展上の政府管理、法律法定の健全、自治協会管理、製品開発、企画、営業販売、環境保護、持続的な発展などを課題とする。まず、欧米、日本など先進国の農村観光、農業観光発展上の経験と教訓を分析する。欧米農村観光は60年代初めのスペインから始まり、近年、農村観光の活動は著しく進んでいて、見学、体験を経て、現在の状況に至り、地方の特色も合わせ、様々な観光形式が出来、様々なゲストの要望に応じている¹⁻²⁾。日本の農村観光地は主に公共投資でできており、法律、制度等が健全である。例えば、古い村を保護するため様々な法律規定を立てた、1975年に「伝統的な建物」を＜文化財保護法＞に含めた³⁾。その他に、日本の農村観光は「自社管理、自社拘束、自社規範、自社サービス」も出来ている。これは日本では農村観光協会という組織があり、農村観光経営者と主

管部門との間をつなげ、農村観光の発展に役立っている。

次に、中国国内の大都市北京、上海、成都などの「農家楽」観光が進んでいる地域の経験と教訓を分析する。北京農家楽の主なゲストは北京で生活している人々であり、青年が主である⁴⁾。北京農家楽は自然を感じ、体験、レジャー、ストレス解消の機能が主であるが、発展途上で特徴が乏しいという問題もあり、品質と発展モデルもアップする必要がある⁵⁾。上海農家楽は<農>と<魚>が結合し、形式が様々であり、潜在力が大きい。そして、農家楽の品質と経営も向上している⁶⁾。成都の農家楽でもっともよくできている場所は郫県である。郫県の農家楽が体制が健全であり、歴史も長く、鮮明な特色と生態の自然風景がそろっている(写真1, 2, 3, 4)⁷⁾。近年来、海外の先進的な考えを受け入れ、現代的な要素も入れてお

り、例えば自転車道とトレーニング・ジムなどの建設がある。以下では「農家楽」の健全で、持続的な発展のために、西安の実例を通して、陝西省が直面する問題の解決策を探る。

Ⅱ 「農家楽」の定義と西安市の「農家楽」

1) 「農家楽」の定義

「農家楽」は農村観光、農業観光の一種である。これをエコー・ツーリズムの範囲内に収めている学者もいる。

筆者としては、「農家楽」観光は農民の家屋、庭園、畑を元として、農家の生活と生産活動、農村の風景と各地の民俗文化を観光商品として、観光とレジャーを目的として来訪する都市住民を引き付ける一種の生態観光活動であると考えている(図1)。

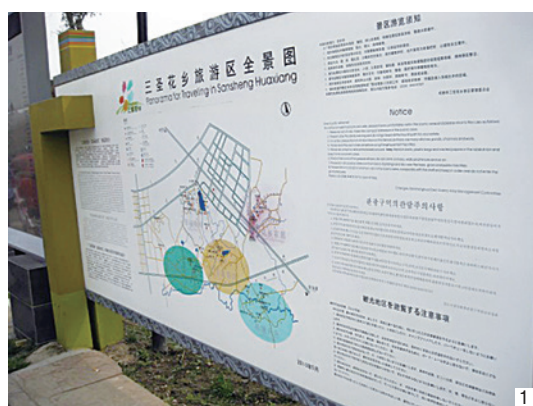


写真1, 2, 3, 4 成都市三郷「農家楽」体験と調査(2013年3月)筆者撮影

2) 西安市における「農家楽」の発展過程と分布

西安市の「農家楽」観光は兵馬俑博物館付近の道路沿いに散在していた農家料理店から始まり、現在までに20余年間の歴史をもつ。秦嶺山脈の北、環山路を中心にして長安区祥裕溝、上王村、戸県草堂営村などの「農家楽」観光休憩帯が形成されている。果物狩り、レジャー、娯楽、魚釣り、バーベキューなどの特色があり、白鹿原生态レジャー農業と杜陵塬観光区、西安市周辺の翠華山、王順山などの山間「農家楽」観光区、温泉に依存する藍田県湯峪鎮塘子村「農家楽」観光区、花観賞・果物狩りの特色がある臨潼万ムザクロ園・閻良万ムメロン野菜園・灊橋万ムさくらんぼ「農家楽」観光区などを形成し、西安市の東西南北に分布している。とくに、市の南の秦嶺山脈に巡る環状線に最も多く分布している。西安市では既に分布の合理性、種類の豊富さ、特色の鮮明

さ、機能が揃い、サービスのよさという農村観光の新パターンを形成し、「農家楽」観光は西安市観光業の重要な部分であり、陝西省の「農家楽」観光の模範でもある。

3) 西安市の「農家楽」観光の運営状況

西安市観光局は「農家楽」観光の発展を重視している。西安市観光局のホームページでは「西安市民幸福生活天天遊」という記事があり、「農家楽」観光のコース、商品の組み合わせ、接待連絡電話などが示されている。市民は「農家楽」観光のための情報を提供していて、「農家楽」観光業の発展に役に立っている。2014年12月までに、西安市観光業管理部門の教育育成指導を受けた上で、「農家楽」経営許可を得たのは約1500店で、他に自発的に経営している店が600店、主に西安市長安区、戸県、灊橋区、経済開発区（未央区）、臨潼区、藍田県、周至県と閻良区等の県、区に分布している（図2）、それぞれに区域の特色が現れている。その中である程度の規模と吸引力がある農家楽観光活動は、未央区の桃花まつり、桃狩りまつり、灊橋区のさくらんぼ狩り、戸県の農民画鑑賞まつりなどがあげられる。

2006年メーデー期間中、西安市の「農家楽」訪問者数は64万人で、それによる収入は1450万人民币元に達し⁸⁾、2007年も2006年とほぼ同じで、2008年は「農家楽」訪問者数が55万人で収入は1350万人民币元で⁹⁾、2009年の同じ期間に、西安市の「農家楽」訪問者数は61.2万人で、収入は1986万人民币元だった¹⁰⁾。2010年メーデー期間

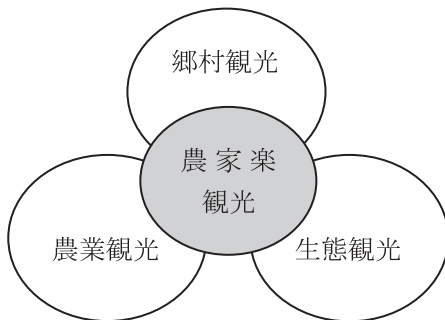


図1 「農家楽」観光と鄉村観光、農業観光、生態観光との関係

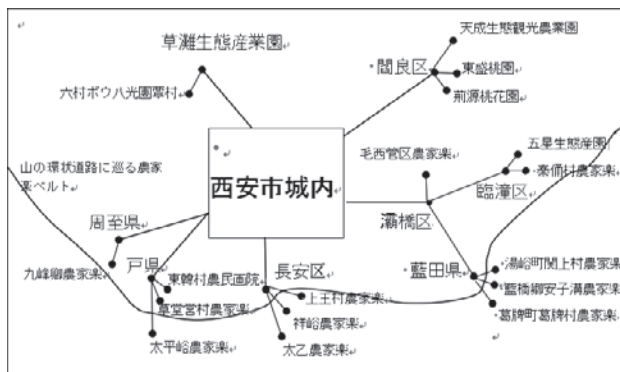


図2 西安市における「農家楽」の分布

中、西安市の「農家楽」訪問者数は69.8万人で、収入は3000万人民币で¹¹⁾、2011年メーデー期間中、西安市の「農家楽」訪問者数は78.1万人で、収入は3600万人民币¹²⁾、2012年期間中、西安市の「農家楽」訪問者数は86万人で、収入は4200

万人民币だった¹³⁾。2013年メーデー期間中、西安市の「農家楽」訪問者数は126万人で、収入は6000万人民币で¹⁴⁾、2014年期間中、西安市の「農家楽」訪問者数は111万人だった¹⁵⁾。西安市の「農家楽」は目覚ましく進んでいる（表1）。

表1 西安「農家楽」観光運営状況（メーデー期間中）

年	観光客数（万人）	収入（万人民币）
2006	64	1450
2007	64	1450
2008	55	1350
2009	61.2	1986
2010	69.8	3000
2011	78.1	3600
2012	86	4200
2013	126	6000
2014	111	—

出典：新聞とインターネット

Ⅲ 調査の概要

筆者は2006年3-5月、8-11月、2009年7月、2012-14年の間、持続的に広範囲で都市住民、村民、「農家楽」経営者、観光客、旅行社などを対象にインタビュー調査を行い、西安市における「農家楽」の発展歷程、発展現状、区域分布、製品および問題を詳しく調査した。調査を受けた西安「農家楽」の観光客は1500人で、うち男性780人、女性720人である。調査を受けた「農家楽」経営者は110人である。西安「農家楽」経営



写真 5, 6, 7, 8 西安市藍田県湯峪鎮塘子村「農家楽」体験と調査（2009年7月）筆者撮影

者のうち調査したのは300人である。調査した西安都市住民は300人である。調査した西安の旅行社は30社である。

1) 西安「農家楽」の観光客の調査

①観光客の年齢

「農家楽」の観光客は、男性は52%で、女性は48%だった。年齢は18～25歳の若者、35～55歳の中年及び55才以上の人が多かった(表2)。

表2 「農家楽」利用者の年齢構成

年齢段	割合(%)
18才以下	4.40
18～25才	20.90
25～35才	11.10
35～55才	38.10
55才以上	25.40

出典：筆者実地調査

つまり、「農家楽」観光は参加できる、体験できる内容(若者)とのんびり休める内容(年配の方)が好まれている。

②観光客の収入

「農家楽」の観光客の収入はおおよそ中等以上であり、2000元以上が多い(表3)。収入が無いのは子供と高齢者で、家族旅行が多く、家族の中には子供と高齢者が含まれている。

③観光客の学歴

「農家楽」の観光客の学歴は高校、専門学校、大学が多い。小中学校と修士博士が少ない(図3)。よって宣伝、営業販売はインターネットが良い。

④宣伝、営業販売

調査結果により「農家楽」の経営には宣伝、営業販売が発達してない等の問題が存在していることを分かった(図4)。

表3 観光客の収入

月收入(人民币)	総人数(%)	男(780人)(%)	女(720人)(%)
無	17.70	21.70	14.30
1000以下	13.10	16.70	10.00
1000～1500	18.50	13.30	22.90
1500～2000	17.70	13.30	21.40
2000以上	33.10	35.00	31.40

出典：筆者実地調査

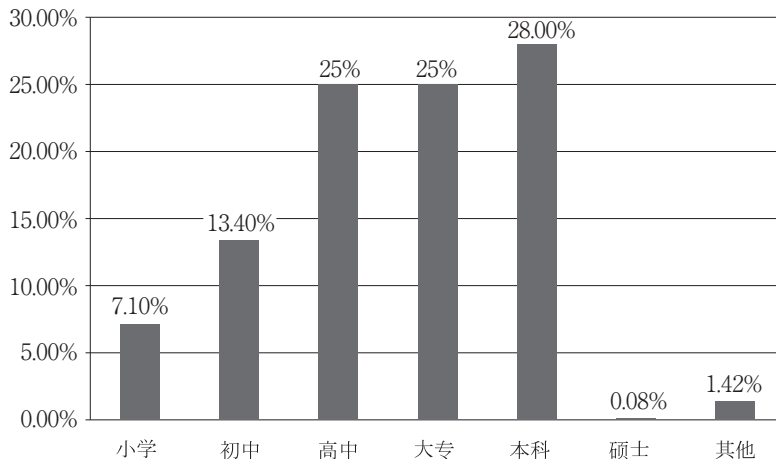


図3 西安「農家楽」観光客の学歴

出典：筆者実地調査

より必要なのがブランド意識の形成，様々な営業販売策略の思考である。

⑤観光客客源地と滞在時間

西安市の「農家楽」の観光客は西安市の市民が一番多い（図5）。

観光客は62.3%「農家楽」に泊まり，37.7%日帰りだ。これによって，観光内容は簡単過ぎ，観光客の滞在時間は短く，観光内容について工夫した方がよい。

⑥交通，安全，製品などの状況

「農家楽」経営者のサービス態度，価格はよいが，衛生状況，娯楽項目，製品の組み合わせ，観光安全性，交通状況などにはまだまだ改善の余地がある（表4）。

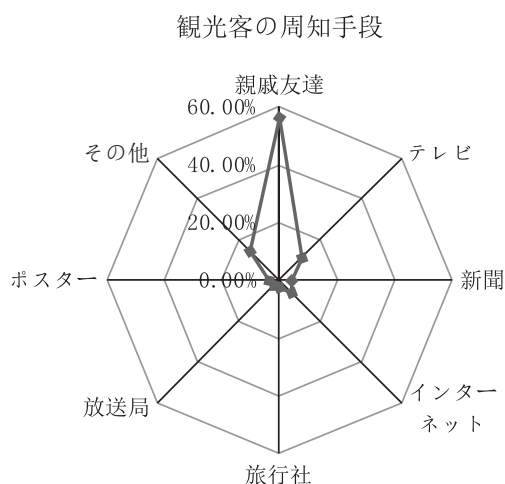


図4 西安「農家楽」観光客の周知手段
出典：筆者実地調査

2) 西安「農家楽」経営者の調査

「農家楽」経営者に対して，調査を行った。経営者の経営状況への満足度：非常に満足 8%，満足 23%，一般 32%，不満足 37%。その原因は以下の通りである。①政府の管理と支持の不足。「農家楽」経営者数の増加が早く競争が激しく，利益が少なくなってくる。②経営散漫，宣伝不足，客源不安定，ブランドに成ってない。③製品企画と開発力が不足し，シーズンオフ時，ゲストを吸引する魅力がない。④サービスがよくない，従業員のレベルが低い，振り向く客が少ない。⑤計画が立てられず，統一管理も欠けるので，不満足度が高い。⑥シーズンオフ時，「農家楽」に関する教育養成のチャンスが少ない。⑦資金貸し付けが難しい，規模拡大，施設とサービスレベルの向上のための資金が足りない。

経営者は「農家楽」観光地の計画，村の環境改善，観光インフラ建設のいずれかについて不満が

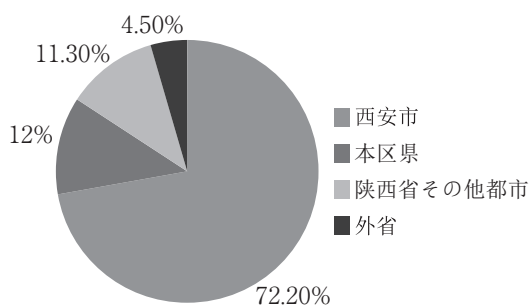


図5 西安「農家楽」観光客の客源地
出典：筆者実地調査

表4 西安市「農家楽」の観光客の満足度

項目	非常に良い (%)	良い (%)	普通 (%)	悪い (%)
交通	15.30	38.70	42.70	3.20
宿泊	7.60	39.00	48.00	7.00
衛生	3.10	20.60	68.70	7.60
サービス	7.60	35.90	46.60	9.90
飲食	3.10	24.40	60.30	12.20
環境	6.10	48.50	40.00	5.30
観光内容	4.50	39.00	50.00	6.90
全体	11.90	38.10	43.70	6.30

出典：筆者実地調査

ある。つまり、政府の管理の及ばない所がたくさんある。

今後、「農家楽」経営権を取得する条件を厳しくする必要がある。西安の「農家楽」を持続的に健康発展させるために、科学的な企画を行い、観光、工商、衛生、防疫、環境保護などの部門が集まって標準化管理を行い、検査を強化し、「農家楽」経営中の問題（価格、品質、衛生、ゴミ問題、污水处理など）を積極的に解決する必要がある。

村には96%「農家楽」観光協会があるが役に立たず、強化する必要がある。

3) 西安「農家楽」経営者が居る村の村民と村の様子の調査

「農家楽」観光している村の村民の友好的な態度は「農家楽」という観光に対して、非常に重要であり、その態度は実際に「農家楽」経営者の経営意欲と経営の成功に密接に繋がっている。筆者は300世帯を調査した。

調査結果：「農家楽」経営を支持する 31%，どちらでもよい 42%，反対 37%。

支持する原因：①「農家楽」経営すれば、村のインフラ建設が出来る。②村の農民たちと市民との交流が多くなり、目を開くこと出来る。③村の知名度がアップ出来、ほこりが出てくる。④就職率が高くなり、収入が増加する。

反対する原因：①「農家楽」経営者はお客様を接待し、お金をもうけることしか熱心でないが、

廃棄水を流して、ごみも散乱している。村の環境が悪くなる。②従業員の給料が安い、一日60元程。③ゲストの自家用車があちこちに駐車して、交通渋滞になる。④ゲストが多い時、騒音が出て、村民のお昼と夜の休みに影響を与える。⑤ゲストが様々であるから、悪い習慣と行為が村民に影響を与える。⑥親戚、近隣の関係は冷くなり、揉めることが多くなる。⑦貧富の差が出て、バランスが崩れる。

感想：「農家楽」経営者と未経営者との関係を協和、調整する必要がある。その切迫性は急務である。

西安「農家楽」観光により齎されたゴミ問題、污水問題、無秩序の駐車、無秩序の建築（写真9、10）などの問題は既に「農家楽」観光持続的な発展の最大の障害になっている¹⁶⁻¹⁹⁾。

4) 西安都市市民調査

西安都市市民は西安「農家楽」の主要なゲストである。筆者は西安鐘樓飯店付近と住宅区で300名の市民にアンケートした。

調査内容：①「農家楽」に行ったことがあるか？ 再び行きたいか？ ②「農家楽」に行ったことがないなら、その理由は何か？（選択肢：時間、お金、ほかの理由）③貴方の希望する「農家楽」はどんなものか？

調査結果：①300名の中の69人（23%）は「農家楽」に行ったことがある。②「農家楽」に行っ



9



10

写真9、10 西安市藍田県湯峪鎮塘子村「農家楽」体験と調査（2009年7月）筆者撮影

たことがない人について、時間が30%、お金が28%、ほかの理由の中では連絡方法が分からない、行く道が分からない、安全の心配、衛生問題、③多数の市民の希望：「農家楽」の小庭園が綺麗で、清潔で、美しく、木と花が多い様子、「農家楽」のオーナーが親切で、素朴で、客好きであり、「農家楽」の食物も新鮮で、衛生的である。

調査によると今の「農家楽」は様々な問題がある：宣伝不足、経営単一、交通不便、衛生不良、サービスレベルが低い。

5) 旅行社との提携関係による販売状況

旅行社は直接ゲストを募集するので、観光地の観光者数と安定性に大きく影響を与えている。

西安の大手30社の旅行社調査：

調査内容：「農家楽」ツアーを募集したことが有るか、「農家楽」ツアー募集で難しいところは何か？、「農家楽」について旅行社へ聞きに来るゲストは居るか？

調査結果：①30社いずれも「農家楽」ツアーを募集したことがない、多くともツアー旅行中に「農家楽」で食事したことがあるだけ。②「農家楽」ツアー募集で難しいところは主に農家楽経営者との連絡方法がなく、予定が立てられない。経営規模が小さくて、ツアーの吸引力も弱い、何か事故（食事の不衛生、医療条件等）が起こる心配があるから、観光吸引力が弱く、ゲストを募集するのも難しい、よく出来ている農家楽が少ない。収入が低くて利益が少ない。③調査した30社の中の28社は問い合わせを受けたことがない、2社は問い合わせを受けたことがあるが、ゲストはまばらしかなかった。④5社は「農家楽」ツアー旅行に行く意向があるが、5社はどちらでもよい、10社はその意向がない。

調査によると西安「農家楽」はまだ旅行社との提携関係を作って、宣伝販売を展開していない、北京などと比べると、まだ差がある。2012年12月に北京で「農家楽」を体験した際はシーズンでない時期だったが、ゲストが多く、調査によると60%以上のゲストは旅行社のすすめで募集した。

6) 観光関係専門家、学者、研究員の調査

様々な原因で我々の政策策定、法律規定の策定速度は「農家楽」の発展速度に及ばない、政府部門の「農家楽」への支持も弱い（例えば政府からの資金支持、営業販売、人材育成など）。これらについて、政府関係部門からの政策支持が必要である。

IV 西安「農家楽」の発展モデル

1) 政府管理モデル

政府は管理モデルを変更する必要がある、確実に「農家楽」経営者のことを考え、彼らが面している資金、宣伝、営業販売、人員育成などの問題を解決する必要がある。

2) 経営者自身の管理モデル

西安「農家楽」の現地調査によると、西安の「農家楽」経営者は80%が独立、自主的、分散的に経営している、何の組織や協会にも参加していない、わずか20%が自分の村の「農家楽」観光協会に参加しているという状況である。（協会規定が不健全のため、あまり役に立たない）。だから、西安の「農家楽」観光は余り進んでない。

日本、北京などの「農家楽」観光協会の発展、管理モデルを借りて、西安の「農家楽」観光協会をよりよく、健全に発展させる必要がある。

3) 製品設計、組み合わせモデル

西安の「農家楽」観光製品は初期の発展段階のものばかりで、製品が単一で、基本的に“農家住まい、農家料理の体験、マージャンの遊び、ランプの遊び、花見、果物摘み取り”などの項目に限られている。製品が単一なので、“シーズンなのに人が多くない、シーズンオフ時、客が少ない”状況になっている。

筆者は西安の「農家楽」製品の設計、組み合わせが休日娯楽機能の増強、教育体験機能の發揮、身体鍛錬機能の振興などの面で力を入れる必要があると思っている。

①休日娯楽機能の増強

「農家楽」の純粋な観光機能がだんだん弱くな

り，“観光”から“観光＋休日娯楽”を経由し、最後は“休日娯楽”になる見込みである。だから、西安の農家楽休日娯楽機能を強化しないといけない。

②教育体験機能の発揮

一回或いは何回かの農業見学，農業体験，農業労働参加により，中小生たちは農業関係の知識を勉強でき，作業の能力も向上できる。「農家楽」の教育体験機能もここで十分に発揮される。

③身体鍛錬機能の振興

“農家料理を食べ，木陰の小道を歩き，村民山歌を歌い，美しい伝説を聞き”という西安「農家楽」の健康的なツアーを作れば，今後，必ず西安市民の健康生活の一つの選択肢になるであろう。

4) ブランド意識の形成と市場営業販売モデル

西安の「農家楽」はまだ無秩序の状態であり，規模も小さい。そのため，発展の要求に応じてブランドの意識形成や，規模の形成などが非常に重要である。西安「農家楽」の影響を拡大するため，多くのゲストを引きつける為に，多様式の販売モデル（マスコミ，戸外ポスター及びネット上の宣伝）も重要である。

5) 人材資源管理モデル

この管理モデル及び構想は政府或いは協会をはじめとして，資金（困難支持費或いは新農村建設費，農民工の無償教育費から一部を支出）を集め，人材を育成することである。

6) 観光製品企画モデル

西安「農家楽」観光製品企画モデル及び構想は，西安区域経済，資源，社会環境などの要素を考えた上で，製品の企画中には十分に西安「農家楽」観光の内容を示し，西安「農家楽」観光開発の生態，社会経済の価値を実現し，西安農村の持続的な発展を推進する必要がある。

7) 観光業の持続的な発展研究

西安「農家楽」観光業発展のためには様々な問題があり，例えば生態環境の破壊及び社会問題など，これが西安「農家楽」観光業の持続的な発展

のための一つの挑戦だと思われる。これらの問題を解決するには以下の原則を守る必要がある。

①自然原則の順守。②全体的な原則の順守。③生態原則の順守。④郷土化原則の順守。

V 陝西省大中都市の「農家楽」発展モデル

陝西省は十の都市と一つの特別区があり，陝南地域（漢中市，安康市，商洛市），関中地域（西安市，宝鸡市，咸陽市，渭南市，楊凌区），陝北地域（延安市，榆林市，銅川市）で，それぞれ，環境が違い，陝南地域は秦嶺山脈と巴山山脈の山地地帯であり，関中地域は関中平野地帯であり，陝北地域は黄土高原地帯である。それぞれ，風俗習慣が違い，「農家楽」発展モデルについて，違う点がある。

1) 政府管理方面

日本の観光農業と農業観光は政府部門により迅速に発展している。例えば農業を観光化するため，農林水産省は1971年に自然休養村の建設計画を立てた。そのため農業のしくみの改善，農林魚業の従業員の就職チャンスの増加が実現した。加えて《農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律》等の八つの法律規定を立てた。このような工夫によって，日本の農業観光が速やかに持続的な発展を辿った²⁰⁾。

①インフラ施設改善

政府は「農家楽」観光の持続的な発展を確保するため，積極的に農村のインフラ施設を改善する必要がある。

②資金，情報と政府支持の提供

小額貸付政策を実行し，民間資金投入の奨励政策を実行し，産業チェーンの建設を支持し，経営者共同存在の発展を激励する必要がある。

③市場秩序の規範

業界基準の強化，お互いの支持それに無秩序の価格競争を避けるため，市場進入と撤退の政策を策定し，年間資格審査制度を実行する。

④安全問題

ゲストの生命安全と財産安全の問題について，政府は工商，衛生，観光，環境保護などの四部門

と一緒に管理監督強化する必要がある。

2) 法律規定

総合的なレベルの高い法律規定の策定は「農家楽」観光業発展のための重要な保障条件である。

3) 経営者自身の管理

「農家楽」経営者は観光経営の職業道德を守ることだけではなく、国の関係部門が策定した法律規定も守らなければならない。それに加え、「農家楽」観光協会を作る必要もある。日本の協会をモデルにして本当に法律上の権力を持ち協会を組織して管理の力を持たせる。筆者は2015年横浜の農業観光を調査したが、協会は駅から苺の畑までゲストが乗る観光バスを運営して、今日は誰の畑で苺狩りをさせるか決めていた。

4) 開発、製品の組み合わせ

1867年、日本の明治維新の時、教育法典の中では修学旅行を奨励し²¹⁾、その後の教育法律の中では修学旅行が明確に書かれてきた²²⁾。

農業修学旅行の結果「自然を愛する、自然を認識する、農業作業を体験する、穀物を大事にする」ことを生かし、日本近代自然科学、文化、教育の発展に大きな役割を果たした。

「農家楽」観光開発の基本原則：①主力資源保護の原則。②主題強調の原則。③元々の様子を維持する原則。④交流強化の原則。⑤体験参加の原則。

持続的な発展を実施する措置：①科学的な開発、秩序的な発展を確保する。②サービス意識の強化、業界の管理を全面的に規範する。③教育養成の強化、サービスの品質を向上する。

品質確保する対策：①ハード施設の建設。②「農家楽」の観光項目を豊富にして、ゲストの興味を引き付けること。③文化的な内容を増やして、「農家楽」観光を持続的な発展に歩み出させること。

5) ブランド意識の形成と営業販売

製品ブランド意識の形成：①「農家楽」の知名度を向上すること。②切実に「農家楽」の価値を

向上すること。③出来るだけ「農家楽」の知名度と価値を有機的に統一すること。

営業販売：①旅行者に宣伝すること。②マスコミ。③ネット宣伝。

6) 人材資源管理

人材資源管理の強化：①村民の教育養成の強化、村民の文化素質を向上すること。②村組の参加管理能力を向上すること。③村の芸人及び村の歴史を良く知っている老人を重視すること。④村民に村の歴史と民族文化などの知識を教え、彼らの遺産保護意識を向上すること。

7) 経営理念

「農家楽」経営者は一般の村民との関係で調和をとる必要がある。調和を取れば、コミュニティの村民たちがより積極的にゲストを接待し、より友好的な雰囲気を作るはずだと思われる。実際、これは「農家楽」観光の一つの売り物である。

8) 交通方面

交通部門、旅行社と一緒に、市民の往来が便利になるよう、休日、祭日の「農家楽」観光専用バスを設ける必要がある。横浜市津久井浜は無料バスを運営しており、ゲストにとって便利である。

9) 観光企画

「農家楽」をよりよくするために、観光企画に力を入れなくては行けない。観光企画の仕事は主に持続的な発展、環境保護、観光遊び製品の開発などである。

10) 環境保護及び持続的な発展

農村地域の環境と風景は観光活動とは密接に関連している。観光は利益を得る上で、環境への影響、社会のしくみへの影響も管理し、指導する必要がある²³⁾。

「農家楽」観光は関係産業の不調和のため、環境汚染のため、あまり進まない、この環境汚染の問題をどのように解決するか、既に「農家楽」発展中最も重要な問題になっている。

環境保護の対策：①管理強化、②環境保護の教育、③技術力の導入、投資ルートの拡大、観光経営の上品化、④ゴミ処理能力の向上、⑤環境への影響を抑え、⑥ゲストを管理強化し、ゲストの環境保護の意識を向上する。

11) 買い物と商品開発

「農家楽」観光商品：農村の着物、農産物、お土産、手作りの芸術品、農村料理など。

「農家楽」観光商品を開発する：①適応的に原料資源を利用し、農村観光の調和的な持続的な発展理念を守る、②長所發揮、短所回避、農村の実際の状況を考へて、鄉村特色商品に基づいて開発すること、③深い鄉村文化を育て、“逸品”路線で行く、④品質管理の強化、標準化の発展路線でいく。

日本をモデルとして、現地の一番良い物、新鮮な物、特長ある物、自慢な物を纏めて売る。筆者は2015年横浜の農業観光調査の際、農家の経営者の話を聞くと、“私たちは、安全な品物を提供します、苺の育て方は十分に気を付けます、特に農薬、種類、灌漑用水は殆ど大丈夫です、安全で健康に良いです。”と言っていた。

12) 安全方面

「農家楽」観光の旅客安全管理は「農家楽」観光安全政策規定、「農家楽」観光安全警告、「農家楽」観光安全のコントロール、「農家楽」観光安全の救助と「農家楽」観光安全保険の五つからなっている。

謝 辞

本稿は立教大学観光学部先生方の指導によって完成したもので、この場を借りて、深く感謝の意を表したい。

付 記

本研究は陝西省教育厅2014年科研費14JK1258、2014年陝西省社科基金後期科研費の助成を受けたものです。

文 献

- 1) 周世強、欧米国家レジャー農業の成功経験、レジャー農業、2013.03:67.

- 2) 国外の様々な農村観光、北京農業、2014.01、中旬刊、48-51
- 3) (日) 岡本伸之 編、観光学入門 ポスト・マス・ツーリズムの観光学、初版第8刷発行、東京:株式会社有斐閣、2007: 311-333.
- 4) 齊鑫、朱艷楠、鄭麗、北京郊外「農家楽」観光發展現狀調査と研究、都市観光企画 2013、08: 145-147.
- 5) 孫兆慧、北京レジャー農業級アップ研究国際經濟合作、地方商務、2014、6: 93-95.
- 6) 王俞ト、上海「農家楽」観光發展現狀分析、都市観光企画、2013、11: 180.
- 7) 中国「農家楽」一番目の村: 四川郫県農科村、湖南農機刊報、2013.06、86: 20-21.
- 8) 張瑾、王穎、ゴールデンウィーク中、200万の観光客が西安で遊び、「農家楽」が1450万元儲かった、西安晚報、2006-05-08 (2).
- 9) 李秋玲、西安接待観光客は延べ96万人、短いコースに人気があり、自家用車が主な旅行手段、西安晚報、2008年5月4日 (3版).
- 10) 陳黎、張亜楠、百万の観光客がゴールデンウィークに西安で遊ぶ、西安晚報、2009年5月4日 (6版).
- 11) ゴールデンウィークに西安の外地観光客が急に増加、観光業のトータル収入が5億近い、<http://travel.sina.com.cn/china/2010-05-05/0932135339.shtml>, 2010-05-05.
- 12) ゴールデンウィーク中の西安の接待観光客は延べ217万人、<http://tieba.baidu.com/p/1068239206>, 2011-05-03.
- 13) ゴールデンウィークの観光接待状況発表、<http://lxs.cncn.com/66313-news-show-199328.html>, 2012-05-02.
- 14) ゴールデンウィークの西安は再び観光人気都市のトップ10入り、観光客300万超え、http://news.xinhuanet.com/travel/2013-05/02/c_124653260.htm, 2012-05-02.
- 15) <http://www.chinanews.com/sh/2014/05-03/6126879.shtml>
- 16) 高林安、西安「農家楽」現狀と發展、安徽農業科学、2010、38(27): 15337-15340.
- 17) 高林安、梅林、劉繼生、劉洋等、観光流時間と空間演變の下での農村観光開發研究—藍田県湯峪鎮の調査データに基づいて、資源開發と市場、2011、27(08): 740-743.
- 18) Gao Linan, A study on adaptive management of rural tourism in Shaanxi province based on tourist destination life-circle theory、博士論文、2014.05
- 19) 駱菲菲、孫虎、西安市「農家楽」観光發展の調査と分析—西安市南郊外の長安区を例として、江西农业学报、2009、21(5): 194-196
- 20) 《農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律施行規則》、平成七年三月三十日 (1995年3月30日) 農林水産省令第二十三号 最終改正: 平成一八年三月二日 (2006年3月22日) 農林水産省令

- 第一四号.《農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律第二十一条第一項の期間を定める政令》.平成十七年十一月二日(2005年11月2日)政令第三百三十一号,《農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律》.平成六年六月二十九日(1994年6月29日)法律第四十六号最終改正:平成一七年七月二六日(2005年7月26日)法律第八七号.
- 21) 前田勇編著.現代観光総論.第三版.東京:株式会社学文社,2008,142.
- 22)《学校教育法》.(昭和二十二年三月三十一日法律第二十六号)最終改正:平成一七年七月一五日法律第八三号第十八条の二:《社会教育法》昭和二十四年六月十日法律第二百七号)最終改正:平成一八年六月二日法律第五〇号十二.
- 23) Stephen Page Paul Brunt Graham Busby Jo Connell 著. Tourism: A Modern Synthesis, 劉劼莉等翻譯.北京:電子工業出版社,2004,283.
- 